

平成23年度厚生労働省『こころの健康づくり対策事業』による 「ひきこもり対策研修」受講者の募集について

この研修は、厚生労働省「平成23年度こころの健康づくり対策事業 思春期精神保健研修」の一環として行われます。

現在、少なくとも 26 万人以上存在するといわれる「ひきこもり」はわが国の精神保健対策の重要な対象として注目される現象となっております。昨年 5 月に厚生労働省は新たな「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」を公表し、今後さらに積極的にひきこもり当事者とその家族の支援にあたるべきであることを明らかにしました。ガイドラインは、ひきこもりを子どもの不登校を含む年代を超えて一貫した現象としてとらえ、その支援のため地域に精神保健・医療・福祉・教育などの専門機関による連携システムが必須であることを示しました。さらにガイドラインは、ひきこもりがメンタルヘルスの問題という側面を色濃く持っていることを明らかにし、精神医学的な評価とそれに基づく支援を支援システムに組み込むべきであるとし、アウトリーチ的支援を含む具体的な支援法の基本について触れています。

すでに多くの自治体でひきこもり支援が実施されていることと思います。全国の標準をよく理解した専門家を育成することは各地におけるひきこもり支援をさらに活性化することができるものと確信し、各地で活躍中の専門家とガイドライン作成に関与した研究者を講師とする本研修プログラムを企画させていただきました。

どうぞご検討の上、実施要項に則してお申込み下さい。なお受講願書は国立国際医療研究センター国府台病院のホームページ、診療案内→児童精神科からもダウンロードできます。

厚生労働省 平成23年度 こころの健康づくり対策事業
ひきこもり対策研修 実施要項

1. 目的 各地域で「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」に基づいたひきこもり支援に携わる人材の確保とその育成を目的として実施する。
2. 日時 平成23年12月1日(木)9:30-16:30 2日(金)9:15-15:30
3. 場所 日経ビル6階 日経カンファレンスルーム
〒100-8600 東京都千代田区大手町1-3-7
4. 受講対象者 精神保健福祉センター、保健所、ひきこもり地域支援センター、医療機関、教育機関等の地域専門機関でひきこもり支援に従事している、もしくは従事する可能性のある医師、看護師、保健師、精神保健福祉士および児童福祉司等の福祉職、児童心理司および相談・医療機関等勤務の心理職、教師等の専門職。
5. 受講料 無料
6. 定員 80名
7. 研修内容 別紙参照
8. 修了証書の授与 研修に欠席なく受講された方には修了証書を授与します。遅刻、欠席、早退などは修了証書の授与ができない場合がありますのでご注意ください。
9. 申込締め切り 平成23年10月18日(火)まで(必着)
別紙「受講願書」(様式1号)、「受講推薦書」(様式2号)に記入の上、申し込み先まで郵送下さい。
10. 受講決定通知 期限内に応募があった中から選考の上参加者を決定し、郵送にて10月28日までに結果を通知します(連絡が遅い場合はお問い合わせください)。
11. その他 昼食・宿泊について用意・案内はございません、各自でお願い致します。

【書類送付先・問い合わせ先】

〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
国立国際医療研究センター国府台病院 児童精神科 宇佐美政英
TEL 047-372-3501 (代) FAX 047-318-4622

(様式1号)

受講願書

平成 年 月 日

独立行政法人
国立国際医療研究センター総長 殿

勤務先 _____

〒

勤務先所在地 _____

勤務先電話番号 _____

勤務先Fax番号 _____

Email address _____ @ _____

フリガナ

氏名 _____ 印

貴院の厚生労働省 平成23年度こころの健康づくり対策事業「ひきこもり対策研修」を受講したいので関係書類を添えて申請いたします。

(様式2号)

職 種	1. 医師 2. 看護師 3. 保健師 4. 精神保健福祉士および児童福祉司等の福祉職 5. 児童心理司および相談・医療機関等勤務の心理職 6. 教師等の専門職 7. スクールカウンセラー 8. その他 ()
現在の勤務場所 (該当する番号・記号に ○印を付すこと)	1. 医療機関 2. 精神保健福祉センター 3. 保健所・保健センター 4. 児童相談所など福祉機関 5. 教育機関 6. 市町村 7. その他 ()
上記のとおり相違ありません。 平成 年 月 日 氏名 _____ 印	

受講推薦書

上記の者を貴院の厚生労働省 平成23年度こころの健康づくり対策事業「ひきこもり対策研修」受講生として推薦いたします。

施設名 _____ .

所在地 _____ .

代表者(所属長)氏名 _____ 印

平成 年 月 日

独立行政法人
国立国際医療研究センター総長 殿

研修内容

第一日目 平成 23 年 12 月 1 日			
9:30～ 9:45	開会式		
9:30～10:00	厚労省担当官		ひきこもりに関する行政上の対策(仮題)
10:00～11:00	近藤直司	山梨県都留児童相談所	ひきこもり問題の背景要因と論点
11:10～12:10	齊藤万比古	国立国際医療研究センター国府台病院	不登校と青年期のひきこもりの連続性
12:10～13:10	昼休み		
13:10～14:10	田中千穂子	花クリニック	当事者本人との個人面接・心理療法
14:10～15:10	渡部京太	国立国際医療研究センター国府台病院	当事者への集団療法(10代後半の臨床から)
15:30～16:30	新村順子	東京都医学総合研究所	ひきこもりの訪問型(アウトリーチ)支援

第二日目 平成 23 年 12 月 2 日			
9:15～10:40	萩原和子	山梨県精神保健福祉センター	ひきこもりの家族支援をめぐって(事例検討)
10:50～11:50	榊原 聡	名古屋市リハビリテーションセンター	就労・社会参加に向けた当事者支援
11:50～13:00	昼休み		
13:00～14:00	来住由樹	岡山県精神科医療センター	ひきこもり支援における危機介入について
14:10～15:30	司会 齊藤万比古		全体討論

(内容は現時点の予定であり、変更の可能性はあります)